

世 界 史

(問 題)

2013年度

〈2013 H25070015 (世界史)〉

注 意 事 項

1. 問題冊子および記述解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。欄外の余白には何も記入しないこと。欄外に何かを記入した解答用紙は無効となる場合がある。
4. 試験が開始されたらただちに、解答用紙の所定欄に、受験番号および氏名を正確に丁寧に記入すること。記述解答用紙の所定欄（2か所）には受験番号と氏名を、マーク解答用紙の所定欄（1か所）には氏名のみを記入すること。
5. マーク欄ははっきりマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

6. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

- 1 ヨーロッパの都市の歴史について述べた以下の文章を読み、下線部(1)～(10)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から答えを選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。また、波線部A、Bに関する問いの答えを記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

古代のギリシアやローマの都市は、単なる都市であるにとどまらず、周辺領域も支配する都市国家だった。ギリシアの都市アテネでは、ペルシア戦争終了後に直接民主政が完成し、古代ローマ以降の政治思想に大きな影響を与えた。

ローマ帝政末期の都市ネットワークは、ゲルマン人の大移動の後も存続し、中世ヨーロッパの都市はそれを引き継ぐ形で発展することになるが、その本格的な開花は11世紀以降のことである。この時代になると、フランスのシャンパーニュ地方などの諸都市で開催された国際的な定期市では、遠隔地の商品が取引され、貨幣を介した交換経済が展開した。ヴァイキングの商業活動や十字軍の与えた影響も大きかった。当時のヨーロッパで、特に都市が繁栄したのは、フランドル地方やドイツ、イタリアであり、商人たちは、北海・バルト海と地中海を舞台とする商業を幅広く営んでいった。これらの都市の多くは、皇帝や国王から自治権を認可されていて、都市は政治勢力としても重要な存在であった。

16世紀以降、一部のヨーロッパ都市は、新大陸やアジアとの貿易で繁栄するが、その一方で、絶対王政による専制支配のもとで、都市の政治的役割は制限されていた。しかし、18世紀後半以降、産業革命を迎えると、近代資本主義の拠点としての都市の果たす役割が決定的に重要になると同時に、政治的、文化的にも都市が社会の中心となる。その反面、都市には、農村からの人口流入が続き、劣悪な生活環境や苛酷な労働条件といった問題も発生した。工業先進国イギリスでは、都市労働者の待遇改善を目指して、さまざまな改革がおこなわれた。そのような労働者階級の改革要求の延長線上に、社会主義思想も誕生するのである。

- (1) ペルシア戦争終了後の出来事でないものはどれか。
- a オリンピアの祭典の始まり
 - b コリントス同盟（ヘラス同盟）の結成
 - c プラトンの活動
 - d ペリクレスの死去
- (2) ローマの政治と戦争について、正しい説明はどれか。
- a リキニウス＝セクスティウス法により、平民会の議決が、元老院の承認なしに国法と認められるようになった。
 - b ポエニ戦争は、ギリシア人とローマ人の間に起こった地中海の覇権をめぐる争いである。
 - c グラックス兄弟は、重装歩兵として従軍する中小土地所有農民の没落を食い止めるために、「パンと見世物」を与えて彼らを優遇した。
 - d アクティウムの海戦の勝利の結果、ローマによる地中海支配が完成した。
- (3) 次にあげる帝政時代のことがらを古い方から時代順に並べた場合に、3番目に来るものはどれか。
- a アウグスティヌスの活躍
 - b カタラウヌムの戦い
 - c 軍人皇帝時代
 - d ドミナトゥス（専制君主政）の開始
- (4) テオドリック（大王）が率いたゲルマン部族はどれか。
- a 西ゴート
 - b 東ゴート
 - c ブルグンド
 - d ランゴバルド

- (5) 中世のドイツと東ヨーロッパについて、正しい説明はどれか。
- a ブルガール人は、ローマ＝カトリックに改宗した。
 - b タンネンベルクの戦いで、ドイツ騎士団は敗北した。
 - c フス戦争は、皇帝と教皇側の圧勝に終わった。
 - d フッガー家は、ニュルンベルクを本拠地とした。
- (6) 中世のイタリアについて、正しい説明はどれか。
- a ロンバルディア同盟は、ギベリンの代表的勢力である。
 - b 両シチリア王国という名称は、シチリア島とサルデーニャ島を支配したことによる。
 - c サレルノ大学は、医学研究で名高い。
 - d ビサ大聖堂は、ゴシック様式で建設された。
- (7) 中世の地中海諸国について、正しい説明はどれか。
- a ビザンツ皇帝は、聖像崇拝の是非をめぐって神聖ローマ皇帝と争った。
 - b アッパース朝は、イベリア半島を支配した。
 - c カステイリャ王国は、14世紀まで、バルセロナを含む地域を支配した。
 - d ポルトガル国王ジョアン2世は、新航路開拓を推し進めた。
- (8) 17世紀に、国際商業における最大の中心地だった都市はどれか。
- a アムステルダム
 - b アントウェルペン (アントワープ)
 - c ブリュージュ
 - d リスボン
- (9) 産業革命について、誤っている説明はどれか。
- a 石炭生産が飛躍的に増大した。
 - b 蒸気機関車や蒸気船の実用化には、19世紀を待たなければならなかった。
 - c 輸送路として、運河の建設が進められた。
 - d 改良された三輪作であるノーフォーク農法が穀物の増産を支えた。
- (10) このような改革に関係しないことがらはどれか。
- a 協同組合の設立
 - b 工場法の制定
 - c 第1回選挙法改正
 - d チャーティスト運動

設問A 中世のフランドル地方におけるもっとも主要な手工業は何か。

設問B 19世紀のフランスの無政府主義者で、「財産、それは窃盗である」と主張して、私有財産制を批判した人物の名前を記しなさい。

2 ヨーロッパ統合の歴史に関する次の(1)～(10)の問いについて、a～dの選択肢の中から答えを選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。また、設問A～Cの答えを記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

(1) 西ヨーロッパ中世世界の誕生とも言える出来事であったカール大帝の戴冠に関し、カールに皇帝の冠を与えた教皇は誰か。

- a インノケンティウス3世 b グレゴリウス7世
- c ヨハネス12世 d レオ3世

(2) ナポレオン戦争後のヨーロッパ秩序を支える柱の一つとなった神聖同盟に参加していないのは誰か。

- a イギリス王 b スウェーデン王
- c フランス王 d プロイセン王

(3) オスマン帝国からの独立戦争では西欧からの義勇軍がギリシアを支援したが、この戦争に参加したバイロンの作品はどれか。

- a 『チャイルド＝ハロルドの巡礼』 b 『人間喜劇』
- c 『緋文字』 d 『ボヴァリー夫人』

(4) 第一次世界大戦後、汎ヨーロッパ運動を行い、ヨーロッパ統合を目指したクーデンホフ＝カレルギーはこの国の政治家か。

- a オーストリア b オランダ c ドイツ d ベルギー

(5) ヨーロッパ統合の動きは社会主義諸国との対立にもうながされた。冷戦下のヨーロッパについて、誤っている説明はどれか。

- a チャーチルは、ソ連がバルト海からアドリア海まで「鉄のカーテン」をおろしていると語って、ソ連への不信感を示した。
- b ソ連によるベルリン封鎖は1949年5月にとかれ、米、英、仏管理地区はドイツ連邦共和国となった。
- c ユーゴスラヴィアはコミンテルンから除名された。
- d 第二次世界大戦後も占領下にあったオーストリアは、中立国として独立を回復した。

(6) ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECS C)の基となる構想を提唱したのは誰か。

- a アデナウアー b シューマン c ブリアン d ハヴェル

(7) 1975年の全欧安全保障協力会議で採択された主権尊重、武力不行使、科学・人間交流の協力をうたった宣言はどれか。

- a ジュネーヴ宣言 b パリ宣言
- c ヘルシンキ宣言 d モスクワ宣言

(8) ヨーロッパ統合に対して慎重な態度をとったサッチャー英首相について誤っている説明はどれか。

- a イギリス保守党初の女性党首となった。
- b 社会福祉の縮小などを行って「小さな政府」づくりを進めた。
- c 自由競争を抑制して経済再建に努め、「イギリス病」の克服をはかった。
- d アルゼンチン軍に占領されたフォークランド諸島を奪回するために軍を動員した。

(9) ヨーロッパの市場統合について、正しいものはどれか。

- a 1980年代には、ヨーロッパ共同体（E C）はスペイン、ポルトガル、ノルウェーを加え、巨大な統一市場へと発展した。
- b 1999年から銀行間の決済などにユーロが用いられるようになり、2002年から紙幣・硬貨の流通が開始された。
- c 旧東欧諸国の中で、2013年1月現在ユーロを導入しているのは、ポーランド、エストニア、スロヴァキアである。
- d イギリスはヨーロッパ自由貿易連合（E F T A）の現加盟国であり、ユーロは導入していない。

(10) ユーロ紙幣の図柄は歴史上の建築様式を理想的に表現したものである。ヨーロッパの代表的建築様式であるバロック様式の建造物はどれか。

- | | |
|------------|------------|
| a ヴェルサイユ宮殿 | b サンスーシ宮殿 |
| c バッキンガム宮殿 | d シャルトル大聖堂 |

設問A 西欧をあげて行われた第3回十字軍に参加したフランス王の名前を記しなさい。

設問B 20世紀後半にはヨーロッパ以外でも地域統合が進展した。1992年にアメリカ、カナダ、メキシコの間で調印された協定の名称を記しなさい。

設問C ドイツの東西分断が克服されたのは1990年のことである。ドイツ統一時の西ドイツ首相の名を記しなさい。

- 3 イスタンブルの歴史について述べた以下の文章を読み、下線部(1)～(10)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から答えを選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。また、波線部A、Bに関する問いの答えを記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

アジアとヨーロッパにまたがるトルコ最大の都市イスタンブルは、古代ギリシアから現在に至るまで政治的・経済的・文化的に重要な位置を占めてきた。その起源はギリシアの植民市⁽¹⁾に遡り、当初はビザンティオン（ビザンティウム）と呼ばれていたが、330年、コンスタンティヌス帝⁽²⁾がここに都を移し、以後コンスタンティノープルと称されるようになった。395年、ローマ帝国が東西に分裂すると東ローマ（ビザンツ帝国）の首都となり、地中海・黒海沿岸に広大な版図を領有する帝国の要に位置する世界有数の貿易都市として栄えた。6世紀半ば、ユスティニアヌス大帝⁽⁴⁾の下で帝国は最盛期を迎えたが、彼の死後次第に領土は縮小し、イスラーム勢力の圧迫に苦しむようになる。13世紀前半、第4回十字軍によって一時征服され、14世紀には、バルカンに進出したオスマン朝⁽⁵⁾の脅威にさらされた。1453年、ついにメフメト2世⁽⁷⁾によってコンスタンティノープルは陥落、ビザンツ帝国は滅亡した。以後オスマン帝国の都としてイスラーム都市へと変貌し、イスタンブルという呼称が定着していった。トプカプ宮殿や数々のモスク⁽⁸⁾が建設され、16世紀には、帝国の政治・文化の中心として繁栄した。19世紀に入ると、西欧モデルの近代化政策と外国資本の進出とによって、都市の景観も西欧化が進んだ。しかし、オスマン帝国はドイツと共に第一次大戦に敗れ、イスタンブルは連合国軍の占領下に置かれる。1923年、ローザンヌ条約⁽⁹⁾の締結後に連合軍は撤退し、トルコ共和国が誕生すると、ローマ帝国以来担ってきた首都の役割をアンカラに譲った。⁽¹⁰⁾

- (1) ギリシアの植民市ではないものはどれか。
a サルデス b シラクサ c ネアポリス d マッサリア
- (2) コンスタンティヌス帝はキリスト教を公認した。キリスト教について誤っている説明はどれか。
a エフェソス公会議でネストリウス派は異端とされた。
b カルケドン公会議で単性論は異端とされた。
c キリストの人間性を唱えるアリウス派は異端とされた。
d ニケーア公会議でアタナシウス派は異端とされた。
- (3) その死後二人の息子によって帝国が分割されることになった皇帝は誰か。
a テオドシウス b トラヤヌス c ハドリアヌス d ユリアヌス
- (4) ユスティニアヌス大帝が再建したハギア＝ソフィア聖堂について誤っている説明はどれか。
a 「イスタンブルの歴史地区」の一部として世界遺産に登録されている。
b オスマン帝国による征服後もコンスタンティノープル教会として存続した。
c ラヴェンナのサン＝ヴィターレ聖堂と並ぶビザンツ様式の代表的な建築である。
d トルコ共和国の世俗化政策により博物館となった。
- (5) 11世紀にビザンツ帝国軍を破ってアナトリアに進出したイスラーム勢力はどれか。
a アイユーブ朝 b ガズナ朝
c セルジューク朝 d ファーティマ朝
- (6) 1366年オスマン朝が都を置いたアドリアノープル（エディルネ）とは現在のどこの国の都市か。
a ギリシア b セルビア c トルコ d ブルガリア

- 設問B オスマン帝国とドイツとの関係を物語る「3B政策」のBの頭文字を持つ3都市とは、ベルリン、ビザンティウム（イスタンブル）とどこか。

- 4 モンゴル高原の遊牧民について述べた以下の文章を読み、下線部(1)～(10)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から答えを選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。また、設問A～Cの答えを記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

モンゴル高原のステップ地帯には、紀元前より遊牧を生業とする牧畜民族が分布していた。彼らは、騎馬戦術を用いる軍事力によって西方や南方に影響を及ぼし、中国の歴史もこれらの北方遊牧民族との関係によってその方向性が決定付けられることがしばしばあった。

モンゴル高原の遊牧民族に関するまとまった史料が登場し、ある程度詳しい情報が得られるのは、匈奴⁽¹⁾からである。漢は多くの時代に匈奴との抗争に劣勢であり、かの張騫の西域遠征⁽²⁾もある国と同盟を結んで匈奴を挟み撃ちにしようとしたのであった。匈奴が分裂して衰退すると、かわってモンゴル高原には鮮卑がおこり、一時強勢をふるった。しかし、やがて鮮卑も分裂し、その一部は華北に南下して五胡十六国⁽³⁾の主要勢力となった。中国南北朝時代に北朝を形成したのも、鮮卑族の北魏⁽⁴⁾であった。鮮卑の弱体化後、モンゴル高原には一時柔然⁽⁵⁾という民族が勃興したことが中国の史書によって知られる。

モンゴル高原の遊牧民族で初めて固有の文字を持つのは、次の突厥からである。突厥文字⁽⁶⁾が解読された結果、突厥はトルコ系民族⁽⁷⁾であることが明らかとなった。突厥は東西に分裂⁽⁸⁾して、ユーラシアのステップ地帯の東半を支配下に入れたが、いずれも唐の攻勢のもとに衰退した。突厥の衰退後、モンゴル高原には同じトルコ系のウイグル⁽⁹⁾が興り、唐の勢力後退と反比例して強大化した。しかし、そのウイグル遊牧帝国⁽¹⁰⁾も9世紀半ばに解体し、それとともにトルコ系民族の西方移動がおこった。やがて彼らはイスラーム化し、かわってモンゴル高原にはモンゴル系諸部族が分布することとなった。

- (1) 匈奴について誤っている説明はどれか。
- a 前漢の武帝は冒頓単于の率いる匈奴軍に包囲されたことがある。
 - b ヨーロッパに進出したフン族は、西方に移動した匈奴と同族とする説がある。
 - c 中国北部に移住した南匈奴の子孫は、永嘉の乱で五胡十六国時代の幕を開けた。
 - d 司馬遷は『史記』の中で匈奴について書き残した。
- (2) 張騫が同盟を結ぶために向かった国はどれか。
- a 条支国 b 安息国 c 大月氏国 d 楼蘭国
- (3) 通常、五胡に含まれない民族はどれか。
- a 越 b 羌 c 羯 d 氐
- (4) 北魏の孝文帝が行った政策として誤っている説明はどれか。
- a 道教を国教とし、仏教を弾圧した。
 - b 中国風の官僚制度を導入し、官制改革を行った。
 - c 三長制という村落統治制度を施行した。
 - d 胡服と鮮卑語を禁止するなどの漢化政策を行った。
- (5) 柔然について誤っている説明はどれか。
- a 可汗という君主号を用いた。
 - b その支配は一時タリム盆地に及んだ。
 - c 滅亡時の中国は北斉と北周の対立期にあった。
 - d 別名トクズ＝オグズとも呼ばれた。

- (6) 突厥文字が刻されたものはどれか。
- a 広開土王碑 b オルホン碑文
c 大秦景教流行中国碑 d ベヒストゥーン碑文
- (7) トルコ系民族に含まれないものはどれか。
- a 高車 b 大夏 c 丁零 d 鉄勒
- (8) 突厥について誤っている説明はどれか。
- a 東突厥は一時唐に滅ばされたが、その後再び独立した。
b 唐は東突厥族を統治するために、モンゴル高原に安北都護府を設置した。
c 唐が西方経営のために設置した單于都護府は、高昌から龜茲に移された。
d 西突厥は天山山脈の北方一帯を主要な勢力圏とした。
- (9) ウイグルについて誤っている説明はどれか。
- a 漢文の史料では回紇などと表記された。
b 初期には突厥文字を、後にウイグル文字を使用した。
c 吐蕃を仲介して唐と盛んに絹馬貿易を行った。
d 支配層の間にマニ教信仰が広がった。
- (10) ウイグル滅亡時に長安に滞在していた日本人の僧侶は誰か。
- a 円仁 b 空海 c 最澄 d 道元
- 設問A 6世紀半ばに突厥とササン朝ペルシアの挟撃によって滅亡したとされる国は、
設問B ウイグルの滅亡後、モンゴル高原北部を一時的に制圧したが、後にチンギス汗によって征服され、併合されたトルコ系民族の名を記しなさい。
- 設問C 10世紀半ばより中央アジアを支配した最初のトルコ系イスラーム王朝の名を記しなさい。

〔以下余白〕